



第235回 物質循環談話会

2024年10月8日(火)13:30-15:00

13番教室（理学部C棟1階）

SPEAKER: **西村 基志 博士**

(信州大学 先鋭領域融合研究群 山岳科学研究拠点／特任助教)

TOPIC

青春を山に賭け，極北を駆ける

全球的な気温上昇が起こっている中，雪氷圏はその変化に伴う影響を最も大きく受けると言われています。そのため，気候変動に伴う影響を把握する上で，雪氷圏の環境変動をモニタリングすることは極めて重要です。

本講演では，学生時代から今まで取り組んできた研究内容の概略を紹介します。学位研究では北アルプスの季節積雪域をし，前職では北極域のグリーンランドの氷河を対象として，積雪涵養から消耗に至るまでのプロセスを気象観測データに基づいて解析しました。同じ雪氷を対象にしても，周囲の気候条件によって雪氷体の動態は異なる部分も多いです。本講演で紹介する研究内容や，調査の様子の写真などを通じて，雪氷の面白さや，あまり馴染みのないであろう北極へ関心を寄せる機会になればと思います。



上高地から見た焼岳



グリーンランド北西部のカナック氷河

<キーワード>

山岳域，北極域，季節積雪，氷河，氷床，雪氷，気象，積雪，消耗，氷河氷床質量収支

☆☆☆興味のある方はお気軽に御参加下さい☆☆☆

物質循環学コース4年生，院生はセミナーの単位(必修)です。